

1. 現在の生育状況

今年、播種後に気温が高く晴天日が多かったことから、草丈は昨年値よりやや長め、苗立は概ね近年値並となり、全体として順調に生育しています。

併せて、ヒエ、ホタルイ等の雑草の生育量も多くなっていることから、除草剤は雑草の種類を確認して、遅れずに散布を行いましょう。

○5月27日現在の生育状況(コシヒカリ:鉄コーティング含む)

	播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)
H27	5/5	14.3	78	3.0
H26	5/5	12.4	80	2.3
平年	5/2	15.8	74	3.2

※H27の値は、5カ所の平均。 ※平年値は平成15~26年の平均値。

2. 当面の管理のポイント

(1) 「浅水管理」

○6月上旬までは、3cm程度の浅水管理により分けつの発生を促進しましょう。

※ただし、水をためっぱなしだと、稲が軟弱徒長となったり、藻や表層剥離などが発生しやすいので、機会を見て(例:除草剤散布前に)水の入れ替えを兼ねて軽く田干しを行いましょう。

(2) 「溝掘り・中干し」

①溝掘りは6月上旬までに行い、10~15条に1本の割合で作溝しましょう。

また、中干し開始前に水尻としっかり連結するなど、溝を手直ししましょう。(移植と同様に実施してください)

②1m間の茎数が100本程度になったら、中干しを開始しましょう。

(参考)平均的な生育では、6/10~15頃に100本/mを超えます。

③中干し終了後は、間断かん水を行いましょう。

◎水管理・除草剤の例

月	6月上旬	中旬	下旬	7月
水管理	浅水管理	溝掘り 中干し	中干し後の間断灌水	
除草剤 殺菌剤	↑例:サンパンチ1扣粒剤 (中期除草剤)		↑オリブライト1扣粒剤 (いもち・紋枯病防除)	

※除草剤および殺菌剤(粒剤)は、5cm程度の深水で散布し、散布後7日間は落水やかけ流しはしないで下さい。

※除草剤・病害虫防除は、次ページを参照下さい

(3) 「 雑 草 防 除 」

草が残っている場合は、種類に応じた除草剤を遅れないように散布しましょう。

主な雑草	薬剤名 (農薬成分数)	10a 使用量及び希釈水量 (使用回数)	使用時期 等
ノビエのみ	【後期剤】 クリンチャー 1和粒剤 (1)	1.0kg (本剤のみは2回)	【1.0 kg/10a 散布の場合】 播種後 10 日～ビエ3 葉期まで 収穫 30 日前までに使用
		1.5kg (本剤のみは2回)	【1.5 kg/10a 散布の場合】 播種後 25 日～ビエ4 葉期まで 収穫 30 日前までに使用
【散布時の注意】 散布時は 5 cm 程度の深水とし、散布後 7 日間は湛水状態を保つ。			
ノビエ以外の広葉雑草	バサグラン粒剤 (1)	3～4kg (本剤のみは1回)	体3 葉期～入水 50 日後まで 収穫 60 日前まで
	【散布時の注意】 落水して散布し、3 日間は入水や落水をしない。		
ノビエ・広葉雑草の両方	バサグラン液剤 (1)	液剤 500～700ml を 水で 70～100 リットルに希釈 (本剤のみは2回)	播種後 35～50 日 収穫 50 日前までに使用
	【散布時の注意】 落水して散布し、3 日間は入水や落水をしない。		
ノビエ・広葉雑草の両方	クリンチャー パス ME 液剤 (2)	液剤 1,000ml を 水で 70～100 リットルに希釈 (本剤のみは2回)	播種後 10 日～ビエ5 葉期まで 収穫 50 日前までに使用
	【散布時の注意】 落水して散布し、3 日間は入水や落水をしない。		
ノビエ・広葉雑草の両方	ワイドアタック SC (1)	水和剤 100ml を 水で 100 リットルに希釈 (本剤のみは2回)	体3 葉期以降、ビエ5 葉期まで 収穫 30 日前までに使用。
	【散布時の注意】 落水して散布し、3 日間は入水や落水をしない。		

※除草剤の使用にあたっては、水稻直播栽培に登録のある剤を選び、「使用時期」、「使用量」、「使用回数」、「使用上の注意」など、使用基準を必ず守ってください。

(4) 「 今 後 の 病 害 虫 防 除 」

①6月20日頃(6月15～25日)に、『オリブライト 250G(豆つぶ剤)』 または『オリブライト1キロ粒剤』を散布して、いもち病・紋枯病の防除を行う。

※いずれも、水深5cm程度に入水し、散布後 5 日程度湛水状態を保ちましょう。
(7日間は落水しない。)

②穂揃期 : 『キラップ粉剤 DL』 又は 『キラップフロアブル』 } 移植に準じる
③傾穂期 : 『スタークル粉剤 DL』 又は 『スタークル液剤』 }